

第1回図書館キャラクター・グランプリ 審査講評

2015.12.11 審査委員会

第1回の開催にもかかわらず、事前の予想をはるかに上回る大変多くの応募がありました。応募してくださったすべての皆さまに感謝しています。ありがとうございました。

応募資料やプレゼンテーションを通じて感じたのは、応募者の皆さまがキャラクターを通して図書館を語っているということです。図書館への熱い想いがキャラクターへの深い愛につながっているといってもよいかもしれません。キャラクターの背景に図書館員や利用者の姿を見出し、働きぶりや見た目、サポートの仕方のなかに“ストーリー”を感じたからこそ、多くの来場者の皆さまが投票してくださったのではないのでしょうか。キャラクターへのメッセージもたくさん書き込まれていました。

すべてのキャラクターが素敵な魅力を持っています。これを讃えたいという思いから、参加章を用意することになりました。応募への感謝も込めてお届けします。さらなる活躍の励みになれば嬉しいです。

第2回はさらに多くのキャラクターと会えることを楽しみにしています。今から応募のご準備を！

1. 来場者投票賞（グランプリ・準グランプリ・第3位）

受賞されたキャラクターの皆さん、おめでとうございます。がまじゃんぱーさん（筑波大学附属図書館・館の働き者部門グランプリ・H-17）の知名度を活かした縦横無尽の働きぶりには感服しました。しほりちゃん（お茶の水女子大学附属図書館・見目で勝負部門グランプリ・M-37）は、思わずこちらまで微笑みたくなる自然体の笑顔が素敵でした。ウパっちさん（株式会社ブレインテック・図書館サポート部門グランプリ・S-17）は、フットワークの軽さと愛くるしい姿にファンがたくさんついているのですね。準グランプリや第3位の皆さんも、来場者の気持ちを惹きつける「何か」を持ち、いかに発揮できたことが得票につながったのだと思います。

しかし！ 惜しくも上位を逃したキャラクターの皆さんも、全員が間違いなく「何か」を持っています。今回の結果は、ちょっとした“時の運”によるものだったといえるかもしれません。何しろ得票数は大変な僅差でしたので（もう一度、投票したら、どのキャラクターが受賞・入賞してもおかしくない状態でした）。第2回の投票結果がいまから楽しみです。

2. 協賛企業賞

協賛企業賞は、各企業さまに独自の視点で「これだ！」と思うキャラクターを選んでいただきました。受賞結果には、企業さまごとの特徴が表れているのではないかと思います。

3. 審査委員会賞

どのキャラクターも本当に甲乙つけがたく、審査は大変難航しました。今回は特にすばらしいと思える点に着目して選出することにしました。具体的には、以下の個別評をご参照ください（敬称略、順不同）。

- ・ぐるりん（大和市長図書館・館の働き者部門・H-02）
- ・としょかんたろう（茨木市長中央図書館・館の働き者部門・H-07）
- ・ジッポ（山梨県立図書館・見目で勝負部門・M-55）
- ・ブックマン（高知市民図書館・図書館サポート部門・S-12）

キャラクターはある意味で「永遠」ですが、ある意味で「寿命」があります。元気に成長できるかどうか

かは、まわりの人の愛情にかかっています。私の推した4人のキャラクターは、15~20年以上にわたって図書館で活躍しており、長年、愛されてきたことが感じ取れました。長期にわたって活躍してきたことは本当にすばらしいと思います。今後もご健康とご活躍を願っています。〔渡辺ゆきの(審査委員)〕

- ・ていーぼー (帝京大学メディアライブラリーセンター・図書館サポート部門・S-11)

業界の注目を集める共読ライブラリーを陰に日向に支えてきた功績は小さくありません。その“熱い”姿は一度見たら忘れません。

- ・かもまる (いわき市立いわき総合図書館・見た目で勝負部門・M-08)

正面から見つめられたら「かわいい」と声を上げない人はいないのではないのでしょうか。“IWAKI”の文字がどこことなく“KAWAII”に見えてきます。

- ・よむぞう (恩納村文化情報センター・見た目で勝負部門・M-01)

地元の景勝地から取られたその容姿と読書につながるその名前……まさに公共図書館にふさわしいキャラクターといえるでしょう。

- ・坪さん (熱海市立図書館・見た目で勝負部門・M-57)

坪内逍遥をモチーフとした姿が目を引きまます。これを“キャラが立つ”というのでしょうか。所定の3分間を活かしたプレゼンテーションは事前準備・役割分担のたまものでしょう。

- ・ほんかり君 (成田市立図書館・見た目で勝負部門・M-56)

からだの色が人や場所によって変わるとはなかなか変わったキャラクターです。プレゼンテーションでは、地道な活動をかawaii声で楽しそうに伝えていました。

- ・ピエール／シャモーネ／ピヨーネ／ピョートル (京都大学農学部図書室・見た目で勝負部門・M-40)

とても味のあるキャラクターの設定が外見にも表れています。味のある設定を活かしたプレゼンテーション動画も印象的でした。

- ・ししょーとまるー (ししょまるはん・図書館サポート部門・S-23)

なかなかの“名コンビ”とお見受けしました。実績も十分。まるで漫才のようなすばらしいプレゼンテーションは一見の価値ありでした。

- ・かなりん (神奈川県医療情報ネットワーク協議会・図書館サポート部門・S-15)

めがねを外したときのつぶらな瞳にやられました。“ギャップ萌え”というのでしょうか。プレゼンテーション登壇者の身を挺した“コスプレ”には脱帽です。

- ・かわとくん (神奈川県立川崎図書館・館の働き者部門・H-04)

失礼ながらごつい感じの見た目とは逆にマメな働きぶり。会場に表れた手づくり感満載の段ボール製かわとくんと観客・司会に手拍子を求める巻き込み型プレゼンテーションもマメさの成果でしょう。

- ・がまじゃんぱー (筑波大学附属図書館・館の働き者部門・H-17)

10年にわたってとても積極的な活動をしてきたことが評価されました。会場でもツーショット撮影に積極的に応じるなど、盛り上げ役を買って出てくれていました。

- ・梅田うさお (足立区立梅田図書館・館の働き者部門・H-19)

読み聞かせをするその姿に何とも言えない暖かみを感じます。会場でも暖かみを発揮してくれました。子どもたちから大人気を博している理由がわかった気がします。

文責 (署名箇所を除く) : 野末俊比古 (審査委員長)

協力 : 糸野泰輔 (グランプリ事務局長)